

# 議会だより

2014年 5 月 北海道中川郡豊頃町議会発行



## 当初予算

# 58億円の新年度予算を可決

第1回定例会は、3月5日から開催され、平成26年度当初予算をはじめ、条例の制定及び平成25年度補正予算など、町長から提案された22議案を、また、意見書等をいずれも原案どおり可決し、12日に閉会しました。

平成26年度一般会計予算は41億2千615万5千円で、対前年度比9・8パーセントの増、特別会計を合わせた7会計総額では、58億669万円で、対前年度比7・0パーセントの増となっています。

歳入では普通交付税が前年対比約1億7千389万円増の22億9千167万円、臨時財政対策債は3千万円減の1億2千万円を見込んでいます。また、多目的福祉施設整備事業に充てるため、地域福祉基金から5千万円、総合行政情報システムの運用に充てるため、行政情報化推進基金から1千万円を繰入れています。

歳出では、町づくり推進費に多目的福祉施設整備事業5千700万円、総合行政情報システムの運用に2千75万円、居宅介護支援事業費に2千498万円、道営担い手支援型畑地帯総合整備事業に、4千600万円、畜産担い手育成総合整備事業に、7千197万円、社会資本整備総合

交付金事業として幌岡第3幹線改良舗装工事等2億5千430万円、防災行政無線用操作卓整備工事に、945万円をそれぞれ計上しています。審議内容については次ページに掲載しています。

また、平成25年度一般会計ほか6特別会計は次ページ表のとおり補正されました。主な補正の内容としては、

財政調整基金など基金積立に1億3千229万円、道営担い手支援型畑地帯総合整備事業負担金（繰越明許費）に4千364万円、パートナータウン町営住宅新築工事（繰越明許費）に6千739万円等、それぞれ追加を行なったものです。

※繰越明許費とは次ページに説明

平成26年度各会計の当初予算の比較(単位:万円)

会計名	26年度	25年度	比較	伸び率	
一般会計	41億 2,616	37億 5,893	3億 6,723	9.8%	
特別会計	国民健康保険特別会計	6億 0,191	5億 9,964	227	0.4%
	介護保険特別会計	3億 8,028	3億 8,030	▲2	0.0%
	後期高齢者医療特別会計	6,284	5,067	1,217	24.0%
	医療施設特別会計	1億 4,971	1億 4,405	566	3.9%
	簡易水道特別会計	2億 7,836	2億 7,903	▲67	▲0.2%
	公共下水道特別会計	2億 0,743	2億 1,548	▲805	▲3.7%
小計	16億 8,052	16億 6,917	1,136	0.7%	
合計	58億 0,669	54億 2,810	3億 7,859	7.0%	



## 平成25年度 各会計補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の額
一般会計(補正7号)専決処分	293万円	46億7,406万円
一般会計(補正8号)	2億3,471万円	49億877万円
国民健康保険特別会計	▲3,182万円	5億8,836万円
介護保険特別会計	▲963万円	3億7,454万円
後期高齢者医療特別会計	7万円	5,379万円
医療施設特別会計	▲18万円	1億5,228万円
簡易水道特別会計	▲429万円	2億8,088万円
公共下水道特別会計	43万円	2億2,279万円

(千円以下は、四捨五入してあります)

※専決処分とは、議会を開くいとまが無いときなど、議会にかわって町長が処分(決定)すること

### 【条例改正等】

▼豊頃町社会教育委員に関する条例の一部改正

社会教育法の規定に基づき、社会教育委員の設置、委嘱の基準、定数、任期その他必要な事項を定めるよう一部改正。

▼豊頃町立へき地保育所条例の一部改正

4月から大津保育所が大津幸町に移転するにあたり、条例中の保育所の所在地を変更。

▼豊頃町エンゼルプラン策定委員会設置条例の一部改正

題名及び条例中の「エンゼルプラン策定」を「子ども・子育て支援」に改正。

▼豊頃町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更

事業の追加及び一部変更

※繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用できる経費をいう。

豊頃町固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

本年4月21日に任期満了となる固定資産評価審査委員会委員川村重幸氏に代わり、中村哲蔵氏(大津寿町)を選任したいとの提案があり、これに同意しました。

なお、任期は平成29年4月21日までの3年間です。

### 会議の詳細は会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録されています。

ご覧になりたい方は、町ホームページを閲覧されるか、議会事務局へお問い合わせください。

また、議会だよりの感想もお待ちしております。

TEL 015-574-2222・FAX 015-574-3955  
(議会事務局直通)

## 主な審議内容

**Q** 長節湖キャンプ場管理施設を更新するが、茂岩山キャンプ場と結び付けてPR・有効活用がでないか？

**A** 26年度予算の「こうふく観光プロジェクト」の中で、「サイクルツーリズム」により、自転車で観光地を巡るといったような活用を検討中。

**Q** キャンプ場の利用について、管内の小中学校にアピールして利用促進を図れないか？

**A** 教育委員会と企画課が連携して、管内の会議等でPR可能。

**Q** 近年の長節湖キャンプ場の利用数は？

**A** 昨年の来客は、約5千人、バンガロー利用者は224名。

**Q** 長節湖キャンプ場管理施設に売店が計画されているが、観光客が減少しているなか、経営が成り立つか？

**A** 豊かな自然は我が町の財産。売店は、町が財政的に支援をする必要があると考えている。

**Q** 新築町営住宅の防音について、居住者の意見を聞いているか？

**A** 入居してから苦情は無い。今後調査して、新たな設計に活用したい。

**Q** 大津地区に防災行政無線受信機を配布したが、受信の問題は？

**A** 出力が小さいため受信できない住宅もあり、室内アンテナ等により改善している。

**Q** エンゼルプラン策定委員会はどのような活動内容？

**A** プランを策定するための委員会なので変更等がある場合開催するが、今後の事業の実施状況を検証するためにも開催していく必要がある。

**Q** 町有林造林事業が随意契約の予定となっているが？

**A** 技術的にも専門知識が必要。山を守るためにも、当町が出資している団体との契約を考えている。

**Q** 町制執行50周年を迎えるか？

**A** 平成27年1月1日で50周年。来年1月から12月で記念事業を実施する。

**Q** 旧茂岩河川事務所を改築して「多目的福祉施設」となるが、名称がわかりにくいのでは？

**A** 1階は社会福祉協議会の事務所とし、2階部分は、他の福祉目的の使用も考えている。



改修される旧茂岩河川事務所

**Q** 旧茂岩河川事務所の広い敷地で、身障者の方にペレット製造などの新たな産業の考えは？

**A** 福祉課が中心となり、福祉団体と調整しながら検討したい。

**Q** コンピュタシステムのウィンドウズXPの保守期限が切れるが？

**A** 今までも入れ替えを進めてきたが、平成26年度予算で、残りの入れ替えを予定。

**Q** 堆肥利用高度化緊急支援対策事業の内容は？

**A** 家畜糞尿堆肥を畑に投入し有効利用を図る事業で、輸送費t当たり200円を町と農協で助成するもの。

**Q** 家畜の糞尿が畑の隅に堆積されては水の汚染が心配される。堆積場の整備が必要では？

**A** 畑作農家の需要を確認して検討していく。

**Q** マリンビジョン公園整備計画とはどこにどのような内容？

**A** 大津漁業協同組合の南東に東屋と遊歩道を整備する。

**Q** 大津港大漁まつりの予算が前年と比較してかなり少ないが？

**A** 昨年は、まつり10回目ということで、帯広市内にチラシ配布、来場者に特産品を配ったり経費が多かった。



大津港大漁まつり



新規魚種開発計画の成果は？

Q 牡蠣の稚貝を購入して湧洞沖で養殖したが実入りが十分だった。新年度は普及所の指導を受けながら、再度展開していく。

Q ヒトデ駆除対策事業補助金の内容は？

A 漁協で集積したヒトデを浦幌町で堆肥化する運搬料に補助。

Q こつふく観光プロジェクト実施事業補助金の内容は？

A 商工会が事業主体となり、地域活力活用新事業全国展開支援事業を活用し800万円の3分の1を町が補助する。内容は、マーケティング、販路拡大、サイクルツーリズムを計画している。

Q パトロール用トラックの購入内容は？

A 1・5トンの平ボディを予定。パトロールの他に砂散布機を乗せて、砂散布にも使用する。

Q 中央区西2条線改良舗装工事で現地は、一時停止が登り坂にならずであり、冬場は本線に出られないが？

A 主にその解消を目的に改良工事を実施する。

Q 昨年、総務文教常任委員会所管事務調査で、町民プールの利用促進のために福祉課と連携して健康増進の方策を検討すべきと意見が出されたが、新年度の計画は？

A 福祉課で実施している健康教室受講者を対象に新たな教室を開設する。

Q 介護保険1号被保険者の保険料の今後の考え方は？

A 現在の保険料は26年度まで。27年度からの保険料は、26年中に検討していく。

Q 水道使用料は12月に消費税分の料金改定がされたが、年額でどのくらいの金額になるのか？

A 3百数十万の見込み。

Q 幕別町、浦幌町から給水を受けている地区があるが、それらも値上げになるのか？

A 両町から直接給水を受けている家庭は、使用料を直接納入するので、豊頃町の料金改定の影響は無い。一部、豊頃町が浦幌町から水を購入して給水している家庭は、豊頃町の料金となる。

# 一般質問

## 子宮頸がんワクチン接種に問題は無いのか！

大谷 友則 議員

Q 全国的に、接種による副反応が報道されているが、当町では？

A 宮口町長  
平成23年から77人が接種している。現時点で、副反応の報告は無い。

Q 接種を受けた方その後のケアは？

A 宮口町長  
平成25年6月に厚生労働省から、副反応事例により積極的勧奨を行わない旨の通知があり、個別に通知等の対応をしている。

Q 今後、豊頃町はどの様に取り組

んでいくのか？

A 宮口町長  
厚生労働省からの情報により対応していく。

Q ワクチン接種を町独自で取り進めないのか？

A 辻本保健士長  
副反応について、未だ問題が解決されていないため、当分の間、積極的勧奨はしない。

Q 接種後、一年以上経過してから副反応が出る事例もあるようだが？

A 岩城福祉課長  
接種者個別に対応していく。

## 消費税分が増税になるのか！

大谷 友則 議員

Q 4月から消費税が改正されることが、町公共料金への転嫁は？

A 宮口町長  
12月議会で、水道料・下水道料の消費税分の料金について条例改正をしている。その他の課税公共料金については、平成27年10月に再度、消費税改正が予定されていることから、その時点で検討する。

広報とよころ

議会だより

▼主な審議内容

役場だより



Q 公平性を考えると、水道料等も平成27年に課税するべきでは？

A 宮口町長  
水道料・下水道料については、特別会計で独立採算であるべきもの。その他の課税対象料金については、システム改修等の経済的な負担を考慮して、総合的に判断した。

## 高齢化社会へ対応の福祉ゾーン計画とは！

大谷 友則 議員

Q 計画の基本的な考え方と年次計画は？

A 宮口町長  
高齢化が加速しており、福祉目的に沿った土地の利用計画が必要。現在、医療機関、福祉施設等が集中している茂岩栄町を中心と考えている。年次計画については、示せる段階になった時に議会と協議したい。

Q 外郭団体との関わりは？

A 宮口町長  
役場福祉課が中心となり、社会福祉協議会、愛生協会、その他民間団体とも協議していく。

Q 国の医療施策により、地域医療の役割が重要となってきたが、豊頃医院との連携は？

A 宮口町長  
国は、団塊の世代の高齢化に伴い、施設介護から、在宅介護へ重きを置く施策の転換をしている。住民が安心して生活出来るよう、医療・保健・福祉と連携したサービスを提供できるように、院長に事業の展開に協力していただくよう要請していく。

Q 福祉ゾーン整備計画はいつごろまで、どの様に策定するのか？

A 宮口町長  
計画は、新年度中には完成させたい。

Q 今後、社会福祉協議会が大きな役割を担うことになると考えるが、財政的、人材的な支援をしていくべきでは？

A 宮口町長  
将来を考えて、人的支援をしていきたい。

Q ボランティアの育成で、自分も利用できるポイント制を考えては？

A 宮口町長  
みんなが関心を持てるような取り組みを考えていきたい。

Q 福祉協議会が移った後の保健センターの活用は？

A 宮口町長  
保健指導等、今まで以上に保健センターとしての使命を果たすよう活用していく。

Q 今、示されている計画には、民有地の取得もあるが？

A 宮口町長  
計画書が正式に出来た段階で判断していく。使っていない民有地は福祉向上のために利用したい。

Q 民有地の取得が頓挫したときに、この計画はどうなるのか？

A 宮口町長  
民有地取得は相手があることなので、必ず取得できるとは限らないが、不整備に終わっても福祉ゾーンの計画は進めていきたい。

## 津波時に避難できるのか！

長谷川 勝夫 議員

Q 大津地区津波避難について、どう考えているのか？

A 宮口町長  
1月28日、津波避難計画説明会を実施。併せて、防災行政無線ラジオ

と避難計画書の各戸配布を行った。特に、高齢者の方に理解を深めていただき、人命を失うことが無いように避難行動をとっていただきたい。

Q 説明会を実施し、どの様に感じたか？

A 山本総務課長  
32名の参加で、周知不足だった。今後も、いろいろな集まりで積極的に説明していく。

Q 津波注意報、警報、大津波警報で、避難場所が違うが、いざというとき、スムーズに避難出来るのか？

A 山本総務課長  
注意報とライフラインが途絶えたときにはコミセンに、警報以上の場合には、より安全な場所へと、地域と協議して避難場所を指定した。

Q 築山、国道横避難場所は建物も無く、冬期間の避難には厳しいと考えるが？

A 山本総務課長  
命を守るための緊急避難場所と考えている。車の駐車スペースも確保されており、とりあえずは車で暖をとっていただくことを想定。備品等の整備は、地域の方と協議しながら進めていく。



Q 避難者の安否確認で、指示系統は？

A 山本総務課長

行政区分と協議して計画を作成した。まずは、区長が中心となり避難者の安否確認をし、行政は体制が整い次第、現地に赴き対応していく。

Q 地域の中では避難弱者救済の思いは持っている。ハザードマップ等を利用して避難訓練を重ねていくことが必要と考えるが？

A 宮口町長

津波は、いち早く遠く高いところに逃げるのが大事。町としても出来るだけ避難訓練の機会を多く持ちたい。

**有料ゴミ袋の強度に問題が！**

長谷川 勝夫 議員

Q ゴミ袋が変更になり、以前より裂けやすいのでは？

A 宮口町長

平成17年からゴミ有料化によりゴミ袋を指定。ポリエチレン製のゴミ袋を採用したが、強度に難があったため、平成24年3月に新しい材質に変更したが、強度に苦情があり、平成25年2月に更に新しいものに変更

している。

Q 現在、苦情は無いのか？

A 吉村住民課長

11月広報にて新しいゴミ袋を周知。在庫がなくなつたものから切り替えており、その後、苦情は無い。



豊頃町指定ゴミ袋

**我が町の地域医療に不安はないのか！**

杉野 好行 議員

Q 昨年9月議会で質問した医院長住宅の管理・使用料徴収について、その後どの様な経過になっているか？

A 宮口町長

昨年11月に、書面により今後の運営等について協議書を出し、その後

面談により協議した。現在、院長は町外から通勤しているが、休憩等に使用しており、招致の条件でも無料貸与としており、住宅使用料の徴収はしない考え。

Q 高齢者人口が増える中、夜間、医者がない地域医療の在り方についてどう考えるか？

A 宮口町長

現院長は、家族の都合で町外から通勤しており、夜間の対応ができないのが現状。緊急の場合は近隣町村の医療機関を利用してあり、その旨も院長と協議をした。町としては、無医村になると住民の不安は更に大きくなるので、何としてもそれだけは避けたい。現院長との委託契約は平成26年度末となっており、町民本位の医療を念頭におきながら院長と協議して豊頃医院の運営をしていきたい。

Q 医院長住宅には事務長が入居しており、公有財産の又貸しになるのでは？事務長には別の住宅に移ってもらうべきでは？

A 宮口町長

管理面で事務長が居住しているが、院長の所有物も置いてあり、契約時の条件でもあるので、やむをえ

ない。

Q セカンドオピニオンを受けたいと言ったところ、それには応じられないと言われた話を聞いているが、それで地域医療が成り立つのか？

A 宮口町長

町民の不満については、院長と話し合いながら、今後の運営について協議していきたい。

Q 投票がメーカー指示と違っていた、セカンドオピニオンの件等、町民の不満の声を多く聞くが？

A 宮口町長

投票の件については、専門的知識が無いので何も言えないが、町民の不満の声は聞いているので、今後の医院運営を含めて院長と話しを重ねていきたい。

Q 地域医療について、町民の不安が大きくなっているのでは？

A 宮口町長

町民の不満の声が大きくなれば、いつかの時点で別な対応も考えなければならぬが、無医村になると町民の不安が更に大きくなることを考えると、医者との摩擦は避けたい。今後、地域医療に町民が不安・不満を持たない様、院長と協議を重ね町立医院の運営をしていきたい。



# 委員会レポート



広報とよころ

▽委員会レポート  
議会だより

役場だより

産業厚生常任委員会が12月20日に、「公営住宅の建設状況について」所管事務調査を行いました。

## 1 計画と目標

少子高齢化が進む人口減社会において、これまで以上に誰もが安心して暮らすことができる住まい・地域づくり実現のため、パートナータウンに、平成25年度2棟4戸、平成26年度2棟4戸、平成27年度2棟4戸、合わせて6棟12戸の木造公営住宅建設と団地内道路整備、水道管の布設工事が計画されている。

## 2 住宅の特徴

本町の土地は、軟弱地盤が多く、建物を木造平屋建てにし軽量化することに、基礎工事費のコストダウンを図っている。また、公営住宅指針による「使いやすい、暮らしやすさ」のため、車イスの使用も可能なように、できる限りの段差の解消や、住戸内通路の幅を8センチメートル以上確保したほか、玄関、トイレ、浴室等に手すりが設置されている。また、給湯設備は、メンテナンスコストの低減を図るために電気温水器を設置している。住宅とカーポートを

一体化した住宅は、冬期間の除雪を軽減し、地域性、景観に配慮した設計となっている。

## 3 建設事業費等

平成25年度の建設事業費は、カーポートを含む公営住宅2棟4戸の建設費が6千126万円、団地内道路整備費が720万円、給水設備整備費が122万円、その他の経費を入れて総額7千141万円で、約2分の1の3千305万円が国から補助金として交付される。

## 4 公営住宅の家賃決定方法

公営住宅法で、世帯の収入により



町営住宅外観

月額2万1千100円から5万6千600円の8階層に定められている。

## 5 まとめ

調査した公営住宅は、外壁にガルバリウム鋼材を使用し塗装等のメンテナンスの軽減を図っている。また、吊り戸等により室内がバリアフリー化され、手すりの設置、洗面脱衣室も車イス対応のスペースが確保されている等、高齢化社会に対応できる住宅と期待される。委員からは、車を持たない高齢者の方が車庫付きの



バリアフリー化された住宅内部

公営住宅に入居しているケースもみられ、公営住宅に居住されている方が独居になった場合に、単身者用住宅に移転していただくこと等により、需要と供給のバランスが保たれるのではないかと。そのためにも、今後、高齢者向け住宅の在り方について、調査が必要ではないかとの意見が出された。



手すりがある浴室



車イスも対応できるトイレ

第1回臨時会（4月17日）

▼専決処分承認

平成25年度一般会計予算の地方交付税など歳入額の確定に伴い、財政調整基金に8千万円、行政情報化推進基金に5千万円、教育振興基金に2千万円を積み立て、道営担い手支援型畑地帯総合整備事業負担金の精算など、歳入歳出予算に1億4千281万5千円を追加し、総額を50億5千158万7千円とした補正予算に係る専決処分を承認。

▼物品の取得

現在庁舎内で使用しているパソコンOSのサポート期間が切れるため、新たな庁舎LANシステム端末機を取得することを議決。取得額は、788万4千円。

▼物品の取得

豊頃町立医院に超音波診断装置を取得することを議決。取得額は、777万6千円。

※専決処分とは、議会を開くいとまが無いときなど、議会にかわって町長が処分（決定）すること

意見書

- ▷労働者保護ルール改悪反対を求める意見書
- ▷地方自治体の臨時・非常勤職員の待遇改善と雇用安定のための法改正に関する意見書
- ▷特定秘密保護法の凍結を求める意見書

原案どおり可決され、関係省庁に提出されました。

議会日誌

〔2月〕

18日 十勝町村議会議長会役員会  
～帯広市

21日 議員全員協議会

十勝町村議会議長会定例会  
～帯広市

24～25日 元議会議員研修会  
～音更町

27日 十勝圏複合事務組合議会  
～帯広市

定例会  
十勝環境複合事務組合議会  
～帯広市

28日 議会運営委員会

〔3月〕

5日 議員全員協議会

第1回定例会（1日目）  
（条例改正等、補正予算、その他）

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会

7日 第1回定例会（2日目）  
（新年度予算）

12日 第1回定例会（3日目）  
（一般質問、その他）

26日 東十勝消防事務組合議会定例会  
～幕別町

〔4月〕

16日 十勝町村議会議長会役員会  
～帯広市

17日 第1回臨時会

21日 十勝町村議会議長会定例会  
～帯広市

22～24日 姉妹都市相馬市訪問

◎今後の予定

〔5月〕

15日 第2回臨時会

16～17日 道東4地区議長会連絡協議会  
～弟子屈町

20日 十勝圏活性化推進期成会総会  
～帯広市

22日 北海道町村議会議長会理事会  
～札幌市

〔6月〕

5日 全道町村議会議長会定期総会  
～札幌市

中旬 第2回定例会